



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE 

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

BE KOBE

神戸は、人の中にある。

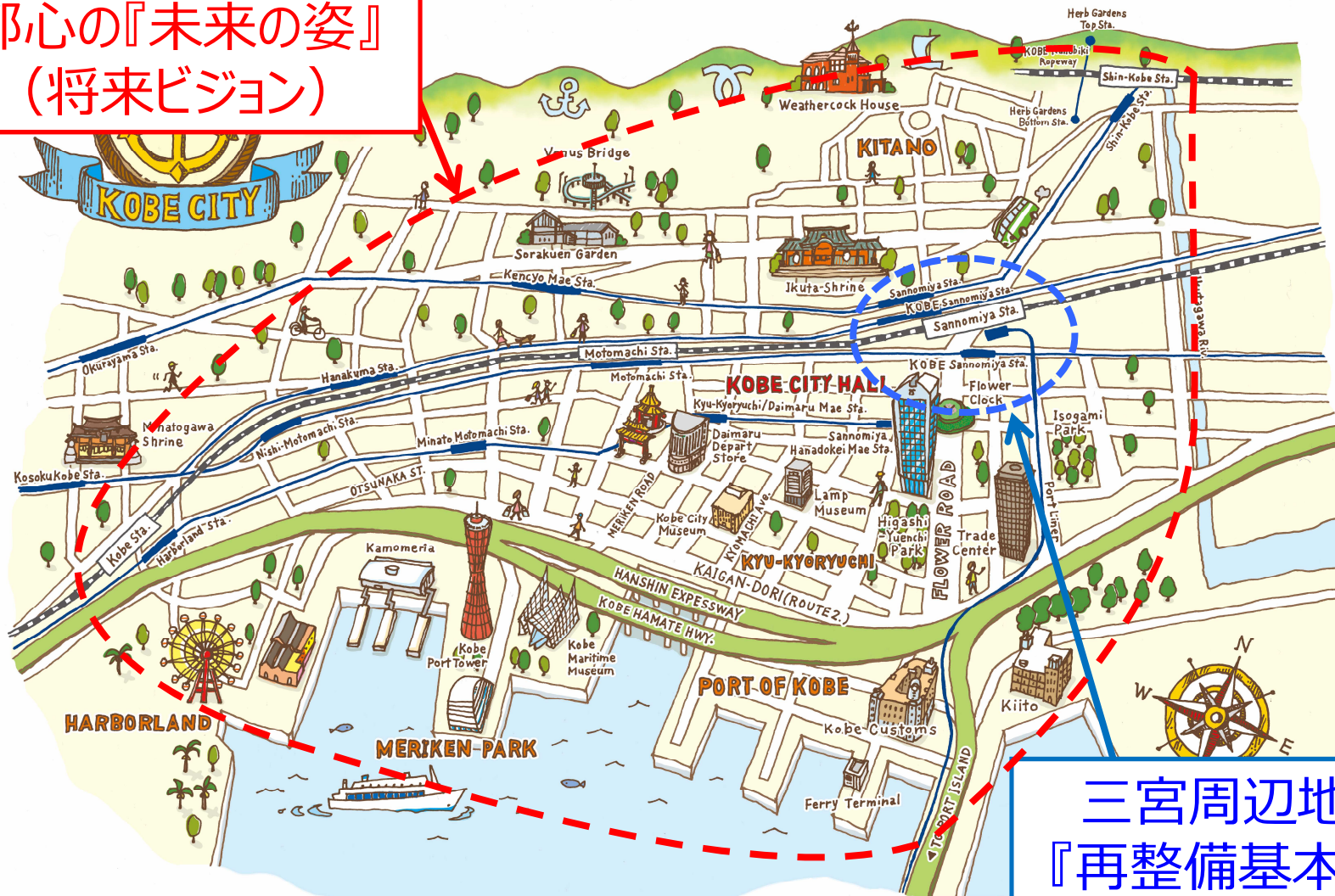
都心・三宮の再整備

神戸市 住宅都市局 計画部長 三島 功裕

平成29年7月22日

神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン] 三宮周辺地区の『再整備基本構想』

都心の『未来の姿』
(将来ビジョン)



三宮周辺地区の
『再整備基本構想』

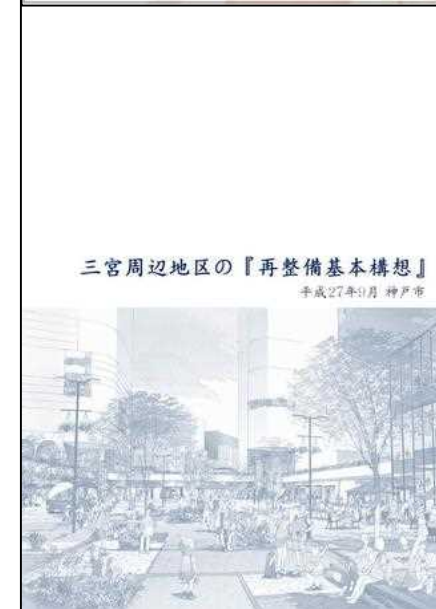
将来ビジョンと基本構想の策定（平成27年9月）

☆ 【将来ビジョン】

- ・都心部全体の将来像を視覚的にまとめたもの
- ・「こんなまちを創っていくんだ！」という方向性を示し、一緒に夢を語れるように策定

☆ 三宮周辺地区の『再整備基本構想』

- ・将来ビジョンの方向性を地域に落とし込んだもの
- ・三宮周辺地区が目指す姿を共有し、官民一体となって進めるために取りまとめたもの
- ・この構想をもとに事業計画を練っていく
- ・具体的な調査や詳細設計は今後取り組む



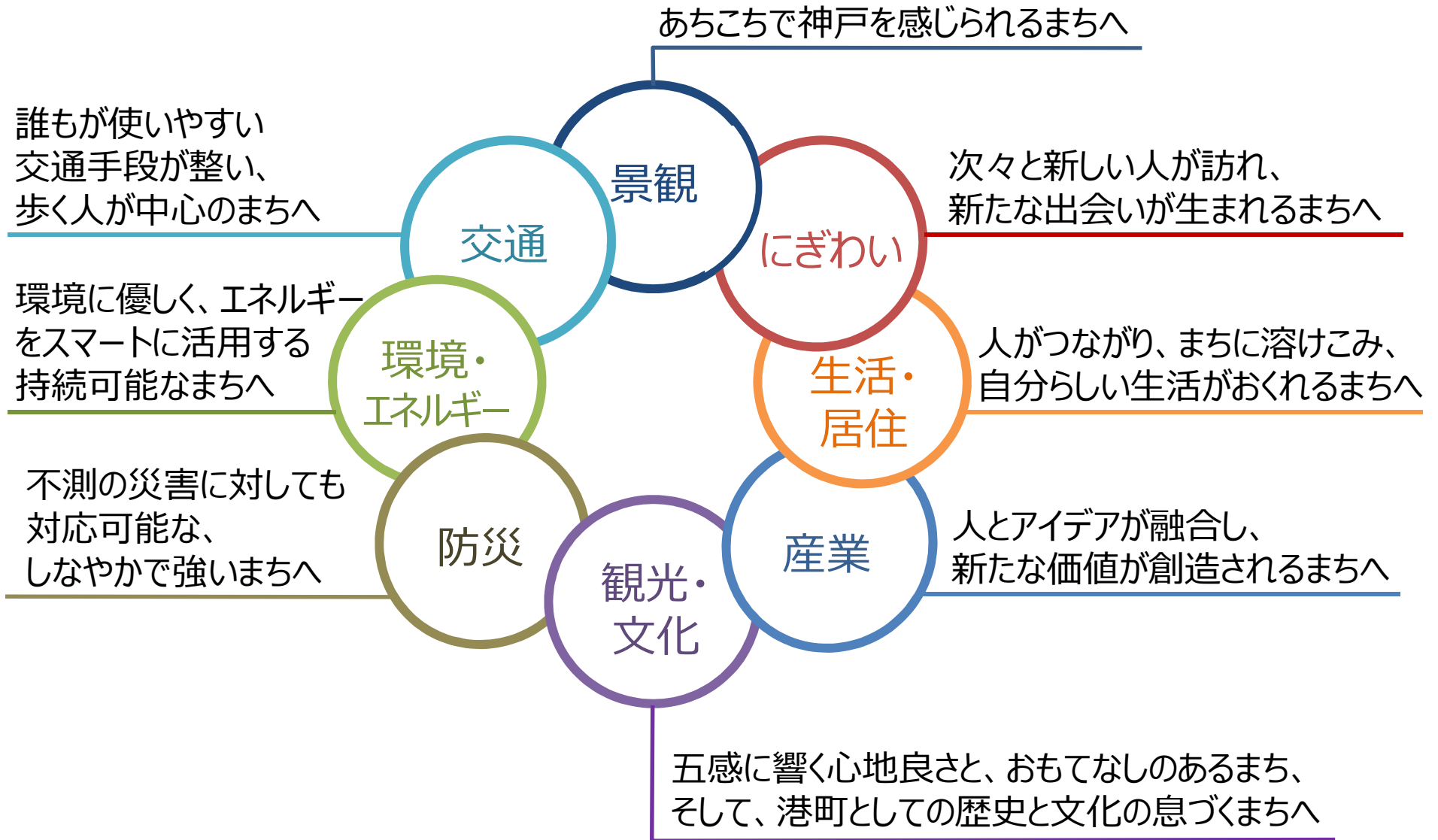
神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン]



日々の刺激と物語が生まれる
美しき港町・神戸

～多文化・多世代交流 あなたが参加しているまち～

都心に備える 8つの軸



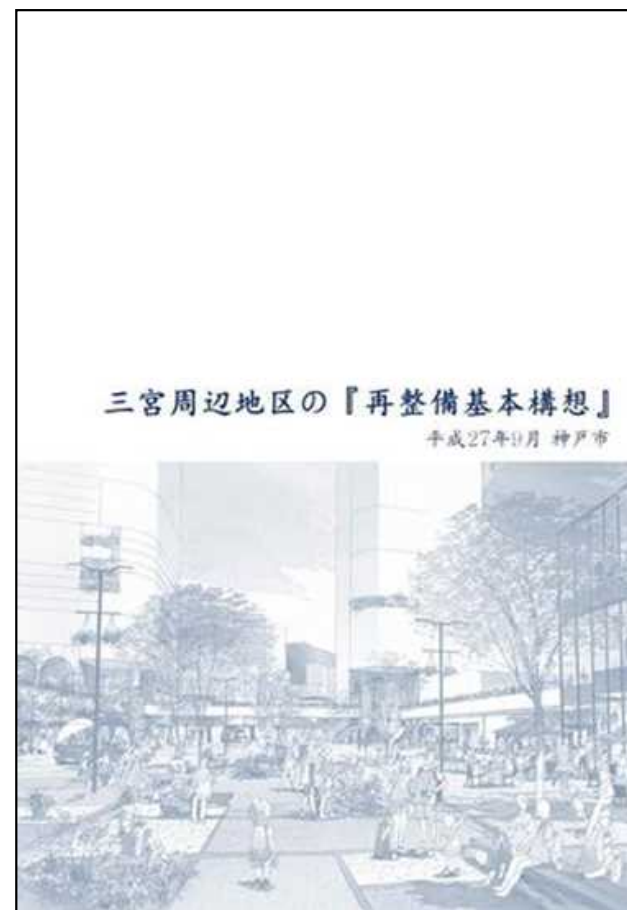
三宮周辺地区の『再整備基本構想』

目指すべき将来像

美しき港町・神戸の玄関口“三宮”

まちづくりの5つの方針

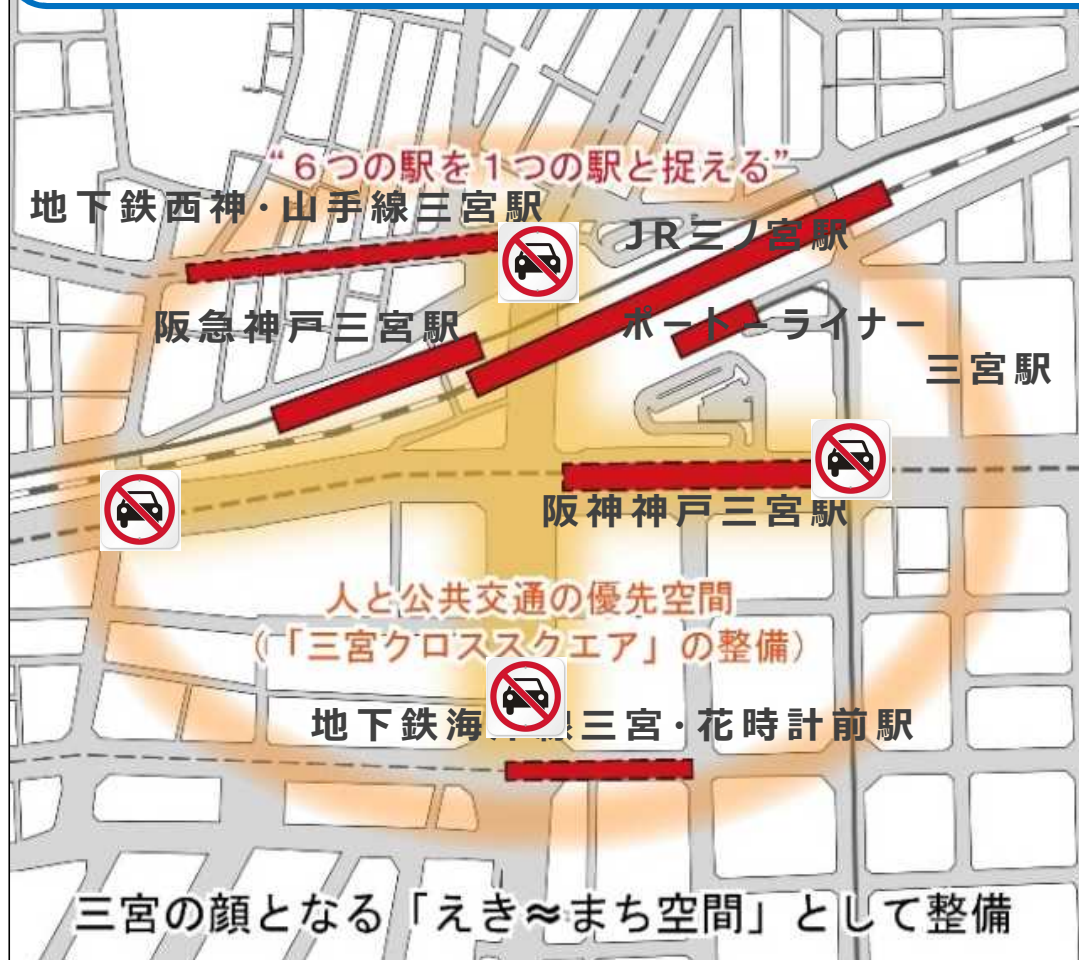
- 1 笑顔で歩く
歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ
- 2 気持ちよく動ける
誰にでもわかりやすい交通結節点へ
- 3 誘う魅力が溢れる
いつ来てもときめく出会いと発見を
- 4 海・山、神戸らしさを感じる
人を惹きつけ心に残るまちへ
- 5 支え、まもり育て、発信する
地域がまちを成長させる



えきまち空間の創出（三宮クロススクエア）

えき ≈ まち空間

6つの鉄道駅とバスの乗降場を、あたかも1つの大きな「えき」であるとし、みんなが集い、楽しむ場所を「まち」として、「えき」と「まち」が交わる空間である。



「≈」の意味

- 「えき」と「まち」が緩やかにつながる、一体的な空間
- 「えき」から「まち」に人が流れていく

えき ≈ まち空間
の骨格をなす



『三宮クロススクエア』

「人の活動」が生まれる場所⇒人中心の空間整備

三宮クロススクエア（南向）



「人の活動」が生まれる場所⇒人中心の空間整備

三宮クロススクエア（南向）



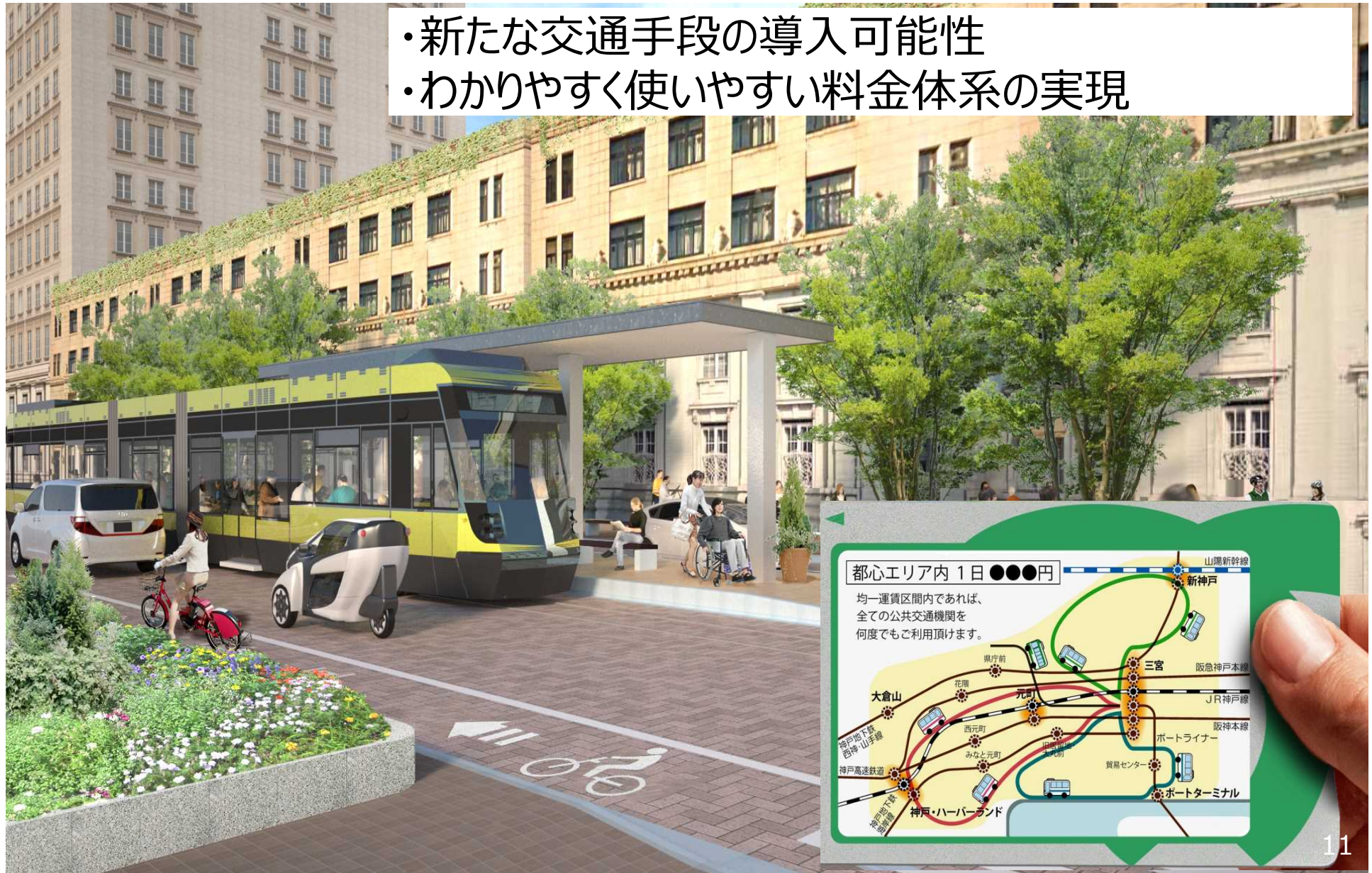
(将来)

神戸らしい景観（歩いて楽しむまちの実現）



人と街に優しい乗り物がまちの個性をつなぐ

- 新たな交通手段の導入可能性
- わかりやすく使いやすい料金体系の実現



三宮周辺地区での主な取り組み

港町の歴史と文化に触れる上質な空間



花と緑あふれる心地良い屋上空間



風格ある街並みデザインの誘導



三宮のまちはこう変わる

気持ちよく利用できる化粧室



スタートアップオフィス



神戸の魅力を発信



北側駅前広場の拡充



新東口の検討



中・長距離バスの集約

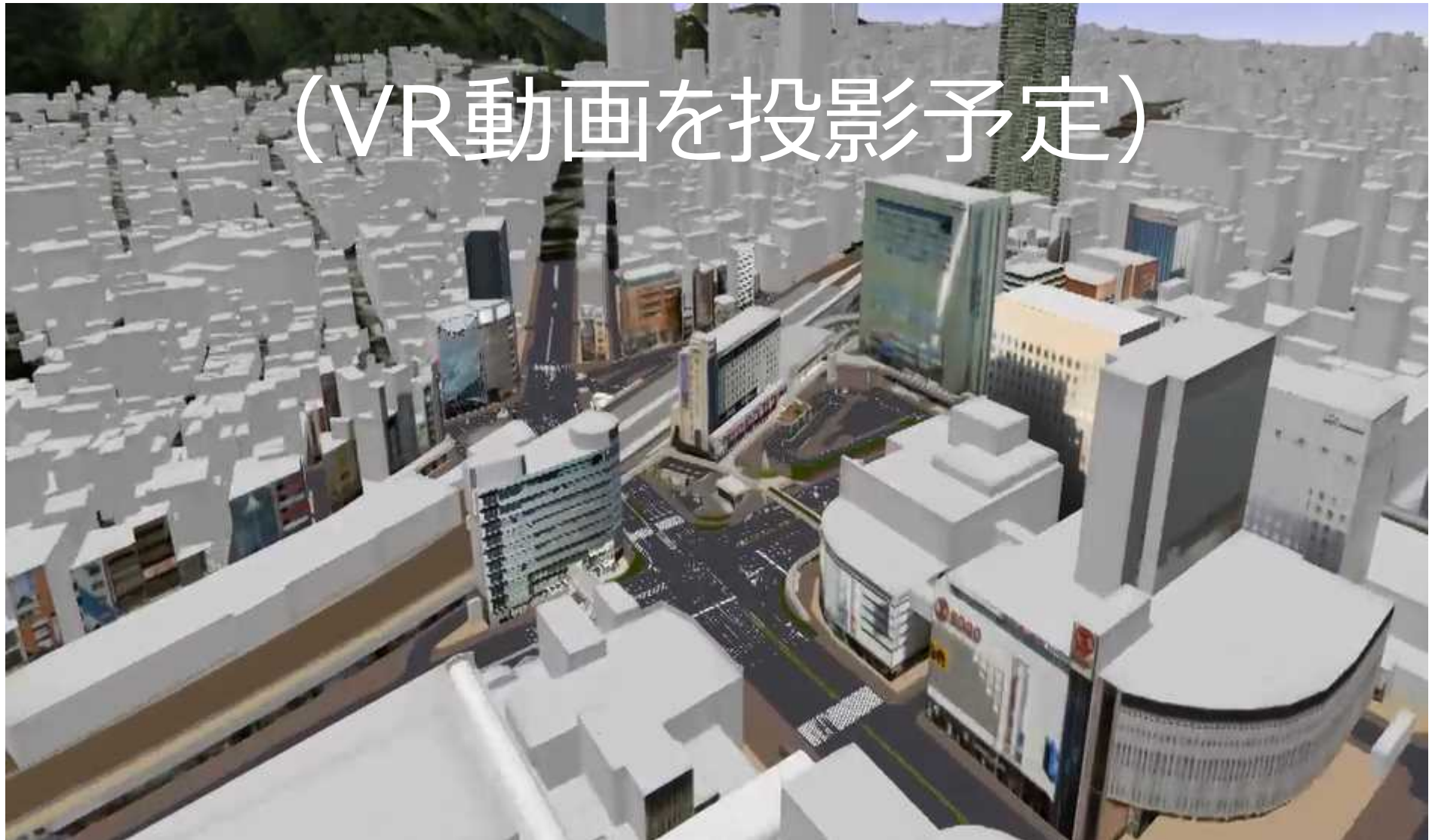


えき〜まち空間

「見える化」の取り組み（模型の作成）



「見える化」の取り組み（VRの活用）



都心三宮の再整備における取組

都心三宮のプランニングと説明責任

1. プランニングと事業の効果
 - 模型・VR
 - 経済効果
 - 感性度評価(Livable City)



2. スマートプランニングを活用

都心三宮の再整備における取組

経済効果(来街者数の増加)



	現在	先行
延床面積	約60ha	約90ha (60ha更新、30ha純増)
来街者数 ※1	約60万人/日 ※2	約75万人/日 (+15万人/日)

※1 大規模開発地区関連交通計画マニュアル(国交省)により推計
※2 三宮6駅の乗降客数等から推計

経済効果 (医療費の増額)

来街者 15万人/日 (増加)

過去の都心回遊行動調査1,640m/回
1歩を70cmと仮定⇒2,300歩/回
(1歩あたり0.061円の医療費軽減)

医療費削減効果：76.8億円/年

(神戸市全体医療費の約1.3%)

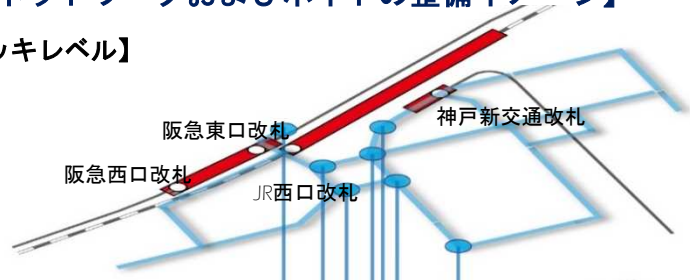
(参考:神戸市の医療費概算 約6,000億円)

スマートプランニングの活用（その1）

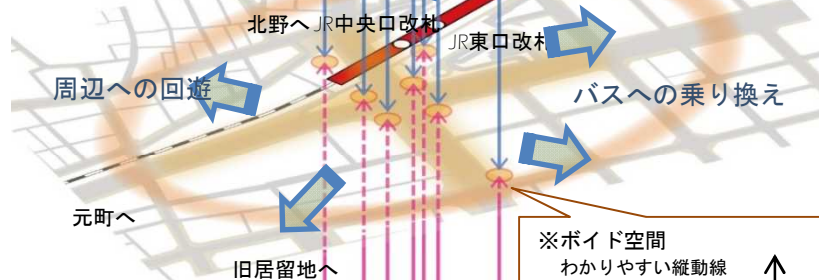
交通結節点のプランニング

【3層ネットワークおよびボイドの整備イメージ】

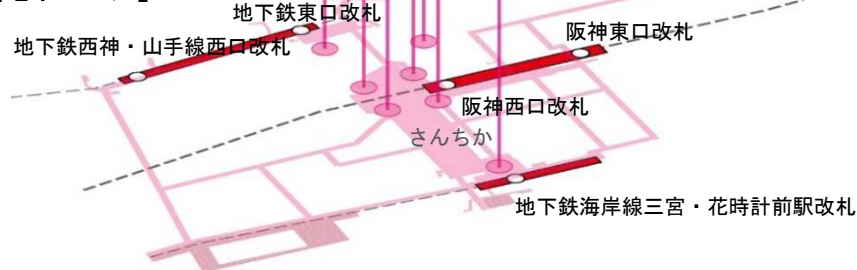
【デッキレベル】



【地上レベル】



【地下レベル】



※ボイド空間
わかりやすい縦動線
(EV+エスカレーター等) ↑
+
滞留空間 (各階) : ○

えき≈まち空間の創出により、改札レベルの異なる6つの駅と新たに整備するバスターミナルをあたかも1つの大きな「えき」と感じられる『誰にでも分かりやすく、使いやすい交通結節点』へ



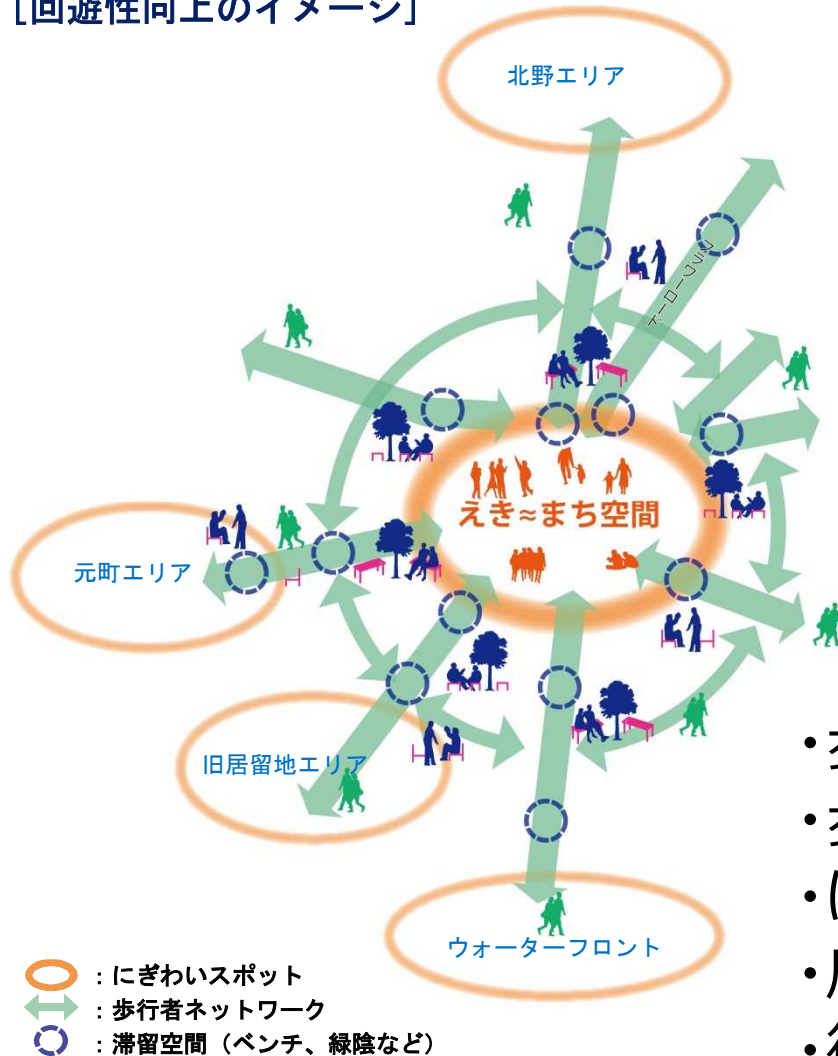
スマートプランニング

- ・歩行者動線、EV.ESCの配置
- ・3層ネットワークのあり方
- ・見通し

スマートプランニングの活用（その2）

まちの回遊性のプランニング

〔回遊性向上のイメージ〕



神戸の都心には、三宮周辺のほか、北野エリア、元町エリア、南京町、旧居留地、ウォーターフロント、少し足を伸ばせば、ハーバーランド、HATなど、モザイク上に魅力あるエリアが点在する、『歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ』

スマートプランニング

- ・歩行者ネットワークと滞留空間の配置
- ・歩行を補完する交通
- ・にぎわいの誘導
- ・店舗の開口率、透過率
- ・街並み、見透し

スマートプランニングの活用（その3）

まちの魅力向上による来街者数の増加(推計)

「えき～まち空間」の創出やまちの回遊性の向上を図り、神戸の都心の魅力をさせる。

魅力の向上を広域的な流動を推計する四段階推定法の分布モデルに反映させることで来街者数の増加数を推計できないか



スマートプランニング

- ・来街者数
- ・歩行者の通行量
- ・移動距離、時間
- ・滞留時間

スマートプランニングに（私が）思うこと

1. スマートプランニングによる携わる人に対して
スマートプランニングの本当の理解と
条件設定と現状と差異によるきめ細やかな対応

2. スマートプランニングの先にあるもの
AIの進歩
感性メディア技術の進歩
シンギュラリティ